

1 領域で貫く国語的な見方・考え方

根拠とする情報を多面的・多角的に吟味して適切なものを選び、自分の考えが伝わるように説明や具体例を加えるなどの工夫を考える。

2 「書くこと」領域における資質・能力の系統

小学校	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	
	<ul style="list-style-type: none"> 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたい事を明確にすること。 目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 	
中学校	第1学年	第2学年	第3学年	高等学校
	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。 表現の仕方を考えたり、資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。 	

3 単元目標

・社会生活の中から選んだ課題について、広く情報を集め、根拠を明確にする意見文を書くことができる。

4 生徒の実態と指導観

<p>《生徒の実態》</p> <p>生徒は、学習意欲も高く積極的な授業参加への姿勢が見られるが、学力は大きく二極化している。その学力差を補完するために、授業の中ではペア学習での教え合いの機会を多く設けている。分かっている生徒も自分の言葉で相手に説明することでより理解が深まる。</p> <p>情報を整理して自分の意見を書く本単元は、国語の総合力を必要とする。今までも、根拠を持って文章を書くことを指導し続けているが、「根拠の示し方」や、「具体的に書くこと」を苦手とする生徒は多く、今回も根拠と自分の意見の整合性が合わなかったり、体験など具体的な事象を挙げなかったりといったつまづきが予想される。そのため、ロジックを視覚的に示し、実感を持って「書く」ことの構造への理解を深められるようにしていきたい。</p>
<p>《指導観》</p> <p>本単元では、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなどして、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫することを目標とし、600字程度の意見文を書くという言語活動を設定している。</p> <p>まずは説明文の学習を活かし、前時までに既習した「モアイは語る—地球の未来」の学習材で、筆者が意見を述べるにあたって、読み手を納得させるために、どのような根拠を用いていたかを想起させたい。そして、選択した題材に対して、まずは、自分自身の意見を持たせたい。そこから、どのような根拠を持って説明をすれば相手をより納得させることができるかを見通しを持たせながら、根拠となる情報を集めさせたい。そして、その収集した材料の明確さや信ぴょう性を確かめさせ、「事実と根拠をつなぐ考え」を丁寧に行うことによって、自分自身の意見と根拠の整合性を考えさせる。交流を通して、さらに吟味させながら、自分の考えがよりよく伝わる意見文の書き方をつかませたい。</p>

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
意見文を書く	<ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの説明文の学習を生かして、言葉を通じて理解・表現した内容が妥当かを吟味し、学習課題に沿って意見を述べる文章を書こうとしている。 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるよう粘り強く工夫して書こうとしている。

6 単元計画

単元を貫く問い 自分の考えがよりよく伝わる意見文の書き方をつかもう。	時数	言語活動	主な学習活動	評価規準	見方・考え方を働かせている生徒の姿
	1	・「根拠」と、「事実と根拠をつなぐ考え」とは何かを考える	<p>めあて「学習の見通しをもち、意見文の根拠に説得力を持たせるためには何が必要か考えよう。」</p> <p>○教科書P172を読み、学習の見通しを持つ。</p> <p>○説得力のある文章の書き方について、「モアイは語る—地球の未来」を想起させる。</p> <p>○「根拠」について、既習事項を想起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「根拠」とは何かを確認する。 根拠の妥当性や説得力について例を用いて検討をする。（ワークシート） 教科書P171の同じ課題の二つの意見文を比較して、意見文における根拠と、事実と根拠をつなぐ考えが説得力につながることを確認する。 根拠を検討するときの視点を決める。 <p>○3つの題材から、自分が書く題材を選択する。（題名は各自が考える。）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コロナの時代を生き抜くために ②SNSの効果的な使い方 ③学校が避難所になったとき、中学生ができること <p>まとめ「説得力のある根拠にするためには……ことを意識して書くことが必要。」</p> <p>（例）意見文の根拠に説得力を持たせるためには、具体例や数値を用いたり、構成の工夫を意識したり、また事実と根拠をつなぐ考えをしっかりと書くことが必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。
2	・決めた題材について、材料を整理する	<p>〈自分が決めた題材について。①・②・③から選択〉</p> <p>めあて「意見文の材料を集めよう。」</p> <p>○書く材料・根拠となる事実（事象）を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ノートに箇条書きで書く。 様々な視点から情報を集める。（ipad、書籍、新聞等を活用） <p>○意見に対する根拠を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択した題材についての意見をノートに書く。 意見に対し、根拠となる材料を吟味して選び、それぞれの理由付けについて、ワーク 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 反論のためには、反対の意見を考えることも必要なのか。 強い根拠にするために、様々な視点から見て考えて 	

単元を貫く問い

自分の考えがよりよく伝わる意見文の書き方をつかもう。

<p>3 本時</p>	<p>・根拠と、事実と根拠をつなぐ考えの確かさを検証し、構成を考えて意見文を書く</p>	<p>シート（思考ツール）を使って整理・分類する。 ・自分とは反対の意見につながる情報も、反論のための材料として集めておく。 まとめ（例）「意見を支える強い根拠とするためには、情報を一面のみでなく様々な面から考える必要がある。」 めあて「根拠と、事実と根拠をつなぐ考えの確かさを検証しよう。」 ・学習班（同じテーマの小グループ）でワークシートを読み合い、意見に対する根拠と、その事実と根拠をつなぐ考えの適切さについて評価をする。 ・根拠と、事実と根拠をつなぐ考えを評価し合ったワークシートをもとに意見を支える強い根拠と、矛盾のない事実と根拠をつなぐ考えとなるように修正する。 まとめ「 めあて「構成を考えて意見文を書こう。」 ○集めた材料をもとに意見文を書く。（原稿用紙600字程度） ・自分の意見が的確に伝わるように、文章の構成や展開を考えて構成メモを作成する。 ・根拠を明確にした意見文を書く。 まとめ（例）「構成メモを作り、そこでも様々な展開の方法を考え、より伝わる構成を考えることが必要。」</p>	<p>観点をもとにワークシートを振り返ると、一部のみにしか伝わらないような根拠があり、班員のアドバイスによって、より客観性の高い根拠に修正することができ、本質に迫るような事実と根拠をつなぐ考えもできた。</p>	<p>みよう。 ・意見の根拠となる資料の、事実と根拠をつなぐ考えは、整理し、分類することが必要だ。 ・根拠や事実と根拠をつなぐ考えを評価してもらったことで、より強い根拠になった。 ・これまでの説明文のように構成や展開を工夫できた。</p>
<p>5 ・ 6</p>	<p>・意見文を交流して再考するための情報を整理する</p>	<p>めあて「友達の意見を参考にしながら、意見文を再考するための情報を集めて整理しよう。」 ○書いた意見文を交流し、推敲する。 ①教員が作成した意見文で流れを確認し、推敲および交流の見通しを持たせる。 ②学習班（同じテーマの小グループ）で、交流する。 ・自分の意見文のコピーの根拠となる情報と、事実と根拠をつなぐ考えに線を引く。 ・線を引いた意見と根拠の整合性・説得力について学習班で交流する。 ・文末表現等の確認をする。 ・それぞれの意見文に、各自の意見を書き込む。 ・交流で得た意見を参考にし、意見と根拠、説明や具体例の関係について再考し、修正に向けて見通しを持つ。（修正メモ）</p>	<p>・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるよう粘り強く工夫して書いている。 意見文を推敲すると、意見と根拠の整合性がなく、説得力に欠けていたが、交流することで相手に納得してもらえるような工夫が学べた。</p>	<p>・根拠と意見の整合性がより確かなものになった。 ・事実と意見の文末の違いや具体例が適切かどうかを交流によって見直すことができた。早く書きたいな。</p>
<p>7</p>	<p>・根拠を明確にして意見文を書く</p>	<p>めあて「根拠を明確にして意見文を書こう」 ○交流で得た意見をもとに、自分の考えがより伝わる文章になるように、説明や具体例を工夫して書く。 ・意見と根拠、説明や具体例の関係について再考した構成メモをもとに、意見文を書く。 振り返り ①交流で得た意見の中で、今後の書く学習に活用しようと思う内容に線を引く。 ②根拠を明確にして書くときに、特に意識したことを書く。 ※①②を参考に「振り返り」を書く。</p>	<p>・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫して書いている。 ・根拠の適切さを考えて、自分の考えが伝わる文章になるように工夫して書こうとしている。 仲間から得たアドバイスをもちに文章を推敲すると、より説得力のある文章を書くことができた。自分の考えがより伝わる文章にするには、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えることが大切だと分かった。</p>	<p>・意見と根拠の整合性に気をつけながら書いていこう。 ・前時に仲間からもらったアドバイスで、意見の根拠となる情報に不確かな内容があったことに気づいたから、よりよい文章に書き直せそうだ。</p>
<p>8</p>	<p>・自分流意見文の評価をし、意見文の書き方をまとめる</p>	<p>めあて「初めの意見文と比較して評価をし、自分の考えがよりよく伝わる意見文の書き方をまとめよう」 ○交流する。 ・学習班（4人の小グループ）で各自の意見文のコピーを読み合い、根拠となる情報と事実と根拠をつなぐ考えに線を引く。 ・意見と線を引いた根拠の整合性・説得力について交流する。 ・文末表現の確認をする。 ・最初に書いた意見文と比較して、交流後に変更した点について交流する。 ○振り返り ・第5時で書き込んだワークシートと本時のワークシートを比較する。 ・本単元を振り返って、今後の「書くこと」の学習に活かしていこうと思うことをまとめる。 ・発表する まとめ ○○流、自分の考えがよりよく伝わる意見文の書き方をまとめる。 (例) ・あえて想定できる反対の立場での意見を考え、その対応について書く。 ・意見に対する根拠と事実と根拠をつなぐ考えをしっかりと考えて、説得力のある文章を書く。</p>	<p>・これまでの説明文の学習を生かして、言葉を通じて理解・表現した内容が妥当かを吟味し、学習課題に沿って意見を述べる文章を書こうとしている。 自分の考えがよりよく伝わる意見文を書くには、意見に対する根拠、と事実と根拠をつなぐ考えを吟味して書くことが大切だと分かった。また、自分の意見に対する反対意見を想定しておき、それに対応する内容を書くことによっても説得力が高まること分かった。</p>	<p>・自分の考えがよりよく伝わる意見文を書くために、意見に対する根拠と、事実と根拠をつなぐ考えをしっかりと吟味して文章を書くことをこれからも大切にしていこう。 ・人によってさまざまな工夫を取り入れた意見文になっていた。今回は、反対意見を想定して書くという工夫も取り入れてみよう。</p>



7 目指す生徒の姿

既習事項を活用しながら、課題について情報を集め、多面的・多角的に吟味し、自分の意見の根拠として説得力のあるものにしていくための工夫をした文章を書いている。